



平成 18 年 3 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社 イ チ ヤ
代表者名 代表取締役社長 吉岡 公和
(ジャスダック コード 9968)
問合せ先 取締役財務部長 曾我部達雄
(TEL. 088-823-2638)

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

この度、当社平成 18 年 7 月期中間期の決算において特別損失（減損損失等）を計上する見通しになりましたので、その概要とともに、平成 17 年 12 月 6 日付発表いたしました平成 18 年 7 月期（平成 17 年 8 月 1 日～平成 18 年 7 月 31 日）の中間及び通期の単独及び連結の業績予想を、下記のとおり修正いたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

(1) 「固定資産の減損に係る会計基準」の適用に伴う特別損失

当社は「固定資産の減損に係る会計基準」を適用することに伴い、平成 18 年 7 月期中間期において、当社が保有する固定資産について減損処理を行い、単独・連結共に 664 百万円の減損損失を特別損失として計上いたします。

(2) その他の特別損失

当社は平成 18 年 7 月期中間期において、上記の特別損失の他に固定資産除却損 7 百万円・投資有価証券評価損 23 百万円・新株発行費 67 百万円をそれぞれ計上する予定をしております。

(3) 業績に与える影響

上記の特別損失につきましては、平成 17 年 12 月 6 日付で公表いたしました「平成 18 年 7 月期中間（単独・連結）業績予想との差異及び通期（単独・連結）業績予想の修正に関するお知らせ」に概ね織り込んでおりましたが、総額 762 百万円となる見込みであります。なお、特別利益は 22 百万円計上する予定であります。

2. 平成 18 年 7 月期 単独業績予想の修正等

(1) 中間（平成 17 年 8 月 1 日～平成 18 年 1 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	840	220	△520
今回修正 (B)	1,031	234	△508
増減額 (B－A)	191	14	12
増減率	22.7%	6.4%	—

(2) 通期（平成 17 年 8 月 1 日～平成 18 年 7 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	1,370	20	△760
今回修正 (B)	1,450	20	△870
増減額 (B－A)	80	－	△110
増減率	5.8%	－	－

(3) 修正理由

上記 1 の特別損失の発生その他、当社の投資事業の売上高が順調に推移したことにより中間期の業績予想を修正いたします。

また、通期の業績につきましては、下期に当社の不動産事業部の売上高を見込んでおりましたが、販売時期が若干遅れることから、業績見通しを修正するものであります。

(4) ご参考：前期の実績（平成 16 年 8 月 1 日～平成 17 年 7 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
中間期 (H16/8～H17/1)	340	△277	△656
通 期 (H16/8～H17/7)	694	△497	△924

2. 平成 18 年 7 月期 連結業績予想の修正等

(1) 中間期（平成 17 年 8 月 1 日～平成 18 年 1 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	中間純利益
前回予想 (A)	1,020	200	△540
今回修正 (B)	1,239	199	△537
増減額 (B－A)	219	△1	3
増減率	21.5%	△0.5%	－

(2) 通期（平成 17 年 8 月 1 日～平成 18 年 7 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	1,840	△10	△800
今回修正 (B)	1,900	△80	△970
増減額 (B－A)	60	△70	△170
増減率	3.3%	－	－

(3) 修正の理由

当社単独の見通しを修正することから、連結の業績予想も修正するものであります。

(4) ご参考：前期の実績（平成 16 年 8 月 1 日～平成 17 年 7 月 31 日）

(単位：百万円)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
中間期 (H16/8～H17/1)	340	△276	△655
通 期 (H16/8～H17/7)	694	△497	△925

以 上